

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
相川	頌子	社会調査から男性性規範を探る
相澤	真一	日本社会における生活様式空間と文化資本
青柳	みどり	社会的インフラストラクチャーのトランジションを考える
赤堀	三郎	情報技術革命とプライバシー観
浅川	達人	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 理論編 (4)
浅野	智彦	『グローバル化する若者世界』のその後 (4) : 若者のグローバル意識の規定構造とその変化
有田	伸	就業構造基本調査データを用いた雇用形態間所得格差の探索的分析
有賀	ゆうアニース	戦後「混血児問題」における<反人種差別>の論理
飯沼	健子	ジェンダー規範・役割の感情要素への影響
井口	尚樹	社会的企業への従業員の入職過程の検討
池田	恵子	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 理論篇 (3)
石井	クンツ 昌子	日本と欧米データの比較から見る男性の育児・家事頻度とジェンダー意識
石井	由香理	性の記憶の場としての映画館
石田	浩	東大社研パネル調査とコロナ禍における健康と生活
石田	賢示	コロナ禍における社会的孤立リスクの格差
石田	あゆう	家政学部の制度化過程にみる戦後日本における「男女平等」イメージの展開
石田	仁	性的マイノリティと共に生きようとしているのは誰か
磯	直樹	音楽空間の社会学的構築
井戸	聡	トランスローカリティからみる移動・若者・ライフスタイル (3)
伊藤	綾香	福祉事務所の人員体制と人手不足感に関する分析
糸数	温子	貧困対策の場における市民活動の日常的実践
稲葉	年計	情報社会における新政治経済学と承認論
猪又	梓	「空気」を社会学で問うために
岩井	紀子	「JGSS データダウンロードシステム」の開発
岩田	考	トランスローカリティからみる移動・若者・ライフスタイル
岩本	健良	ジェンダー表現をめぐる広告自主規制基準の国際的潮流と日本の課題
上野	康司	日本における労働市場の非流動性、安定志向と若年 LGBQ のキャリア設計
植村	秀人	地方における企業の高等学校就学支援 (その2)
ウォーターズ	めぐみ	Biographic Narrative Interpretive Method (BNIM)の概要と展望
宇田川	拓雄	高等教育研究は学問分野か研究領域か?
打越	文弥	日本における女性の就労と学歴同類婚が所得格差に与える影響
内田	龍史	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 実証篇 (7)
袁	景竜	会話におけるステレオタイプの使用
呉	先珍	「私」の超越というユートピア
大井	慈郎	「地域づくり」と「閉じこもり防止」の隙間の検討
大木	香菜江	東アジアと南欧における福祉レジーム論の受容と応答
大久保	将貴	COVID-19 のリスク認知と感染予防行動
大倉	韻	『グローバル化する若者世界』のその後 (2) : 若者人格類型の再検討
大崎	裕子	教育格差認識が幸福感に与える影響にかんする日韓比較分析

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
太田	有子	グローバリゼーションと地域ガバナンス
大野	光子	エスニック・ビジネスのサービスエンカウンターにおける「客」と「店員」の相互行為分析
大尾	侑子	「悪書」はいかに発見されたか？
大矢根	淳	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 実証篇（1）
大山	治彦	スウェーデンにおける「SOGI 平等」への組みとりくみ
岡沢	亮	フィクション映画における成員カテゴリーの視覚的秩序
岡野	一郎	英語支配の何が問題か
岡村	逸郎	犯罪被害者を本格派推理小説の主題として描く方法
岡村	志以	手帳とは何か
小川	晃生	学校における「マイノリティに対する差別・排除」についての日米比較モデルの構築
小川	豊武	大学生の生活と意識 2020（6）
尾川	満宏	トランジション経験の地域特性を描く
小田中	悠	都市におけるまなざしの研究
越智	郁乃	アートディレクションと市民参画
小股	遼	新型コロナ禍におけるイベントスペース利用者調査から（1）
夏	天	中国における親の長期的な不在経験と普通科高校進学
歸山	亜紀	ウェブ先行の逐次型複合モード調査(1)
景山	佳代子	紀伊半島の原発反対運動の展開
片岡	栄美	若者たちの差異空間と文化的象徴闘争
片桐	勇人	離島における住民の地域おこしへの関心に社会関係資本が与える影響
勝山	紘子	多文化共生社会における包摂性実現に向けた地域日本語教室の役割
加戸	友佳子	アトピー性皮膚炎の掻破の経験に関するビデオ・エスノグラフィー分析の試み
加藤	大樹	ネット右派の公衆的相互作用
加藤	倫子	刑務所における「正直になることのできる場」をめぐる相互行為分析
金井	雅之	職業生活が幸福度に与える影響の国際比較
金澤	悠介	「社会意識の分断」という観点から見た現代日本の政治意識の構造
金子	雅彦	COVID-19 対策の日英比較
鎌田	大資	社会的世界論の活用
亀山	俊朗	能力開発・教育政策と＜自律＞＜能動＞
川副	早央里	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 理論篇（1）
河田	純一	「がん経験」を活かすがん患者と社会制度の再帰的關係
河村	賢	小説におけるカテゴリー・行為・出来事の秩序
河村	裕樹	精神医療における専門性
河村	則行	社会的孤立と社会的処方の実践
神林	博史	新型コロナウイルス流行期におけるオンラインパネル調査データの分析(1)
木島	由晶	大学生の生活と意識 2020（4）
木田	勇輔	居住地域の「不利」と「孤独」は都市住民のウェルビーイングに影響するか
北川	由紀彦	東京における都市貧困層の動態（2）
吉川	徹	コロナ禍は社会意識を変えたか？

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
木下	博之	景観に観る合意形成
木下	征彦	地域社会における人と猫をめぐるコンフリクトに関する事例研究
金	善美	東京都江東区・清澄白河はいかにして「コーヒーとアートの街」になったか
金	政芸	日本人の対外意識の構造
木村	至聖	ヘリテージをめぐるコミュニケーション
木村	雅史	コミュニティカフェにおける活動の定義と主体的参加
金城	達也	聞き取り調査によって地域社会を組み直す
久保田	裕之	大学生の生活と意識 2020（7）
栗原	美紀	身体文化の習得プロセスにおける意味づけの変化
黒川	すみれ	女性の働き方と意識の変容
黒田	由彦	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 理論篇（2）
呉	江城	「小資」的雑誌のメディア機能
呉	丹	性的アイデンティティの形成とコミュニティ
河野	昌広	四国遍路記に見る難所の変遷から見えてくること
木暮	美菜	ソーシャルメディアにおける苦情対応の効果
小島	宏	リスク回避意識は晩婚化をもたらすのか
小島	伸之	日本のアニメ・特撮作品における戦争
小林	大祐	調査員が回答内容に与える影響の自記式モードとの比較による検討
小林	盾	貧困と幸福感
小林	秀行	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 実証篇（5）
権	永詞	アウトドア・アクティビティに見る社会と自然の境界
佐伯	厘咲	日本社会における「受験浪人」研究の意義とその再考
斉藤	正美	少子化対策とリプロダクティブ・ヘルス/ライツ
齋藤	幸世	台湾総統選におけるストラテジーとしての多言語の使い分け
榊原	賢二郎	障害への対処技法と障害文化
坂口	真康	「共生」に関わる歴史教育に関する一考察
坂田	勝彦	炭鉱の記憶の継承をめぐる困難と希望
崎濱	佳代	ホスト社会沖縄と日系人
作田	誠一郎	非行少年からみた不登校と学校社会
桜井	芳生	日本若年層の「スマホゲーム」頻度にたいする、遺伝子一塩基多型 rs4680 の看過しがたい効果
笹島	秀晃	1960 年代末ニューヨーク、オルタナティブ・スペース・ムーブメントの分析
佐草	智久	家政婦紹介所によるホームヘルプサービスに関する考察
定松	淳	文部省審議会における「もんじゅ」後続炉選定過程の分析
佐藤	宏子	農村直系制家族における世帯形成と世代更新の変化
佐藤	典子	コロナ禍のフランスにおける緊急事態宣言がもたらしたもの
佐藤	麻衣	「腐女子」とはいかなる人びとか
眞田	英毅	学校外教育は大衆化したのか
佐野	和子	職業構造の変化と女性の中スキル職
澤田	千恵	医療者はなぜ遺族の求める対応ができないのか

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
三部	倫子	新型コロナウイルス感染症のLGBTコミュニティへの影響
吉	琛佳	アジアにおけるウェーバー受容の地政学
宍戸	邦章	大規模災害発生のリスク認知と原子力政策に対する態度の変化
志田	哲之	性的少数者と生活困難
篠原	清夫	社会学ってどうしてこんなにつまらないの？（2）
柴田	恭亘	Schooled Writers の象徴闘争
嶋根	克己	姉家督による家系の継承と幸福感
下窪	拓也	社会的不満が反移民意識に与える影響の検証
周	玉琴	中国農村における土地資本化と「家」・「村」の変容
周	彼	「幼女」のセクシュアリティの再発見
庄司	貴俊	原発被災地で再び漁業を始める理由
庄司	知恵子	津波被災地の復興過程における住民自治の展開（2）
白井	千晶	セクシュアル・マイノリティが里親・養親になることに対する委託側の態度について
白鳥	義彦	「集合意識」概念の展開可能性
白波瀬	佐和子	再分配政策からみた超高齢社会の包摂への課題
末田	隼大	バーバラ・アダムの時間論におけるG・H・ミードの影響
末盛	慶	母子世帯の貧困はなぜ維持されるのか？
菅野	摂子	人工妊娠中絶に対する男性の態度
菅森	朝子	家族をケアする女性が「病者」になるとき、誰に支えられるのか
杉野	勇	ウェブ先行の逐次型複合モード調査(2)
杉本	久未子	軍用地コンバージョンの比較研究（2）
杉山	怜美	新型コロナ禍におけるイベントスペース利用者調査から（3）
鈴木	起生	日常経験としての「多文化」
数土	直紀	新型コロナウイルス流行期におけるオンラインパネル調査データの分析（2）
巢内	尚子	アジア地域における搾取のインフラと移住の軌跡
須永	将史	女子依存症回復支援プログラムの相互行為分析
清家	久美	存在論／認識論の視点による対象把握についての一試論
清藤	春香	発達障害がある Adult Cross Cultural Kids の社会関係資本
瀬戸	健太郎	休暇取得の決定要因と労働市場構造
妹尾	麻美	大学生の生活と意識 2020（1）
瀬山	紀子	公務非正規労働従事者に関する当事者実態アンケート調査報告
高木	竜輔	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 理論編（6）
高艸	賢	予測的ポリシングに肯定的なのは誰か？
高崙	浩平	介護系 NPO におけるボランティアの参加構造
高橋	幸	ミス・コンテストの何が批判されてきたのか
武内	保	もうひとつの「技術と記憶の関係」
竹内	陽介	トランスローカリティからみる移動・若者・ライフスタイル
武田	尚子	フィールド調査の系譜
武田	俊輔	地方都市の伝統的町内はコロナ禍をいかに受け止めているのか？

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
竹中	健	コロナ禍における自助組織の新たな展開
竹端	寛	医療保護入院を巡る「中空構造」
巽	美奈子	1920～30年代の日本における「家庭料理」にかんする検討
田中	重好	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 理論編（5）
田中	裕史	バッシングが家族によって行われることの意味
田中	慶子	出生前検査を希望するのはどんな女性か
樽本	英樹	社会イノベーションと移民・市民権政策
太郎丸	博	大学教員や文系知識人は「革新」的か？
陳	艶艶	環境意識と環境保全行動の関連性分析
張	羽欣	差別経験を乗り越える
張	篠叡	The Second-Generation Newcomer Chinese Immigrants in Japan
陳	怡禎	台湾ひまわり運動・香港雨傘運動における「対話」と「情動」
陳	黙	日本における中国人留学生の曖昧な生きづらさ
塚田	穂高	「宗教2世」問題の社会問題化の過程とその背景
辻	岳史	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 実証篇（4）
辻	竜平	Go To トラベルと Go To イートの促進要因と抑制要因
辻	大介	インターネット利用は政治的「知識ギャップ」を拡げるか
辻	泉	『グローバル化する若者世界』のその後（3）：地元志向の変容と規定要因
津田	壮章	自衛隊退職者による当事者運動の二重性
土取	俊輝	村落社会における空き家の意味づけとは何か
坪井	優子	母性の支配的言説を反復し、語り直す：認可保育所の乳児保育を利用する女性6名の語りから（2）
寺田	晋	OECD 型グローバル・コンピテンスと多文化シティズンシップ
寺地	幹人	大学生の生活と意識 2020（3）
天島	大輔	「発話困難な重度身体障がい者」が介助者と協働で行う当事者研究
藤間	公太	追加出生についての社会階層論的検討
時安	邦治	シティズンシップ教育と3つの政治
徳久	美生子	原爆被爆者たちの〈生〉と死者との関係に関する検討
戸澤	典子	イスラエル占領地ヨルダン川西岸地区のアメリカ・ユダヤ移民入植者
轟	亮	ウェブ先行の逐次型複合モード調査(3)
永井	純一	音楽フェスティバルと行政・地域社会
中川	雄大	帝都復興の担い手は誰か
長島	祐基	「家」はどう描かれたのか
永瀬	圭	夫婦の勢力関係の計量分析
中西	祐子	アメリカ移住女性たちの就業戦略
長野	慎一	身体的実存を等しく扱う法の構想
中村	真由美	司法制度改革が弁護士の仕事と家庭におけるジェンダー格差に与えた影響
成田	凌	トランスローカリティからみる移動・若者・ライフスタイル
難波	孝志	軍用地コンバージョンの比較研究（1）
二階堂	裕子	外国人技能実習生の受け入れによる家族農業の活性化の可能性

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
西城戸	誠	津波被災地の復興過程における住民自治の展開（1）
西野	淑美	東日本大震災被災世帯による住宅再建への調整行動
根岸	海馬	移動の「個人化」と「シェアリング・モビリティ」
野坂	真	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 実証篇（3）
野島	那津子	「給付金のたかり屋」言説にみる社会的排除のカテゴリーとその変容
野田	潤	近現代日本における家族の食をめぐる語りの変容
野村	恭代	障害者施策に関する一考察
長谷川	拓人	ケア経験がもたらす中長期的な不安と難しさ
長谷部	美佳	日本におけるカンボジア・コミュニティの形成とその役割の変容
畑山	要介	消費と労働の脱成長
服部	恵典	ポルノグラフィの女性ファンへのインタビュー調査可能性
羽瀨	一代	トランスローカリティからみる移動・若者・ライフスタイル
濱松	若葉	日本における障害者就労支援の「能力」観を再考する
林	凌	「消費者主権」の系譜学
林	雄亮	コロナ禍での運動習慣と働き方
早野	禎二	アマルティア・センの Capability 論と社会関係資本論
原	俊彦	日本の人口減少,その原因と帰結
樋口	あゆみ	ロシア武術のオートエスノグラフィー
平井	順	軍用地コンバージョンの比較研究（3）
平井	太郎	トランス・ローカリティ、ポスト・コロナにおける
平井	秀幸	「回復／支援」者としての刑務所職員？
平野	寛弥	社会政策におけるエージェンシーと自律
深尾	友理恵	マナーはどのようなときに語られるのか
深見	嘉明	ワイン事業新規参入時における地域・産業コミュニティ参入プロセス分析
福井	康貴	リソースジェネレータによる社会起業家の社会関係資本の把握
福島	みのり	20代女性のセルフ・ナラティブに描かれた日本のジェンダーバイアス
藤井	史朗	マルクス『資本論』の背後仮説と社会学的な「人間」理解の問題
藤岡	伸明	浜松市の日本語教育体制に関する社会学的分析
藤田	哲司	Wikipedia 研究実践と再帰持続的（reflexive）権威性について
藤田	智子	児童虐待防止政策と家族の統治
藤原	翔	階級と地位の影響
藤本	一男	「対応分析」の見逃されている機能
二方	龍紀	大学生の生活と意識 2020（5）
古川	千絵	留学経験における自己アイデンティの形成と居場所探しの過程
斐	智恵	韓国におけるワーク・ライフ・バランス政策と出産行動の関係
包	暁蘭	医療システムの確立とその影響について
干川	剛史	災害時における被災自治体への情報通信支援活動の実態と課題
堀田	裕子	試着接客場面に見る衣服と身体との関係性
本郷	正武	薬害における「加害」の射程

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
ポンサピタック クサンティ	ピヤ	アジアのテレビ広告におけるジェンダー役割
品治	佑吉	「人生問題」はいかなるものとして語られてきたか
本田	量久	W.E.B.デュボイスと日本
前田	忠彦	「日本人の読み書き能力調査（1948）」における学歴の効果について
前田	悟志	消費志向的な生産活動，あるいは生産志向的な消費活動
前田	一步	戦前期東京・都市公園の「浮浪者」対策
前山	総一郎	公共住宅政策の特別目的自治体「ハウジングオーソリティ」の組織イノベーション
牧野	智和	大学生の生活と意識 2020（2）
眞住	優助	移民のスキルと準合法性の関係性の考察
俣野	美咲	親からの支援が及ぼす若者の離家・再同居への影響
松井	怜雄	日常生活世界における文化中毒者とは何者か
松崎	貴子	就労女性の不妊治療状況
松田	茂樹	日本・韓国・台湾における若年雇用と初婚の関係
松田	大弘	ハワード・S・ベッカーの「アート・ワールド」の再検討
松田	美佐	『グローバル化する若者世界』のその後（1）：Twitter 愛好者と Instagram 愛好者の差異
松田	ヒロ子	高度経済成長期日本の地域社会とミリタリー・カルチャー
松本	いく子	旧南洋群島の植民地支配とキリスト教
MICHALOVA	ZUZANA	身体加工の実践における自己表現力と安定的な自己形成過程
水川	喜文	学校教育における理科授業のプラン(Suchman)と定式化
三須田	善暢	希少生物・環境教育を媒介とした地域環境保全活動の展開過程および合意形成
三隅	一人	地域共有物を管理する社会システムとしてのコミュニティ
溝尻	真也	初期DIY/日曜大工にみる職人精神と男性性
南川	文里	アジア系アメリカ人による反多文化主義
宮澤	篤史	公共図書館における公共圏形成の可能性
宮地	俊介	コロナ禍における地域活動はいかにして持続可能か
麥倉	哲	戦災犠牲死の検証にもとづく文化財とするために
麦山	亮太	なぜ非正規雇用者は結婚しにくいのか
村上	慎司	自律の社会的決定要因と認知資源配分
村上	一基	フランスにおける中国系移民第二世代の統合とアイデンティティ
村瀬	洋一	新型コロナ禍における社会意識と強制への価値観
村田	泰子	母性の支配的言説を反復し、語り直す：認可保育所の乳児保育を利用する女性6名の語りから（1）
室井	研二	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 実証篇（6）
百瀬	由璃絵	曖昧な層の計量的可視化
森	啓輔	軍事基地を起因とした有機フッ素化合物汚染はどのように乗り越えられるか
森田	次朗	フリースクールの実践からみた子どもの自由と市民／非市民の境界
森山	智彦	失業の地域差の要因分析
諸岡	了介	チャールズ・テイラーにおける社会学的世俗化論批判
柳下	実	親の生活時間調整の負担は子の成長によって緩和されるのか？

姓	名	報告タイトル（主タイトルのみ）
八鍬	加容子	〈他者〉との出会いは、公共圏に何をもたらすのか
矢崎	慶太郎	家族関係における幸福と不幸の両義性
柳田	ゆう花	感覚的活動としてのケアの社会的分有に関する一考察
山内	智瑛	新型コロナ禍におけるイベントスペース利用者調査から（2）
山岸	諒己	「教育虐待」概念の形成と変化
山口	恵子	東京における都市貧困層の動態（1）
山口	敬大	松本清張のハビトゥスと文学実践
山口	毅	犯罪研究とスティグマ
山中	浩司	医学と社会的宙づり状態
山本	耕平	都市政治における改革のジレンマ？
山本	理奈	都市の高齢化がもたらす居住問題
結城	翼	東京における都市貧困層の動態（3）
横山	麻衣	日本の社会的・文化的状況に即した強かん神話尺度の開発に向けて
吉田	耕平	なぜ海外同郷者団体は形成されるのか
吉野	英岐	大規模災害からの復興の地域的最適解に関する総合的研究 2021 実証篇（2）
吉野	智美	新型コロナウイルス感染症による日本人の生活と意識への影響
米澤	旦	社会的企業研究におけるメゾレベル分析の意義
李	成蹊	二次創作者における創造性の持つ両義的意味をめぐって
陸	麗君	華僑・華人のトランスナショナル起業とその特徴に関する考察
劉	強	中国におけるカミングアウト及びその支援が意味するもの
劉	恒宇	社会主義近代化と家族の民主化
若狭	優	オンライン会議の相互行為分析への予備的検討
王	勁為	展覧会の企画における評価がいかに可能になるのか